

## 2020 年度実施概要

学校名

大牟田市立天領小学校

採択活動名

有明海や三池港を生かした大牟田海洋教育プロジェクト

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

| 単元名                          | 学年 | 教科   |
|------------------------------|----|------|
| 1. 『有明海・見つけたよ、海の生き物！』        | 3年 | 海の時間 |
| 2. 『つながろう！つなげよう！私たちと諏訪川と有明海』 | 4年 | 海の時間 |
| 3. 『有明海と人の生活とのつながり』          | 5年 | 海の時間 |
| 4. 『海と人の共生』                  | 6年 | 海の時間 |

取り組みの概要

## 「3年 海の時間『有明海・見つけたよ、海の生きもの！』」

有明海の干潟観察会をきっかけに、干潟に棲む様々な生物の特徴などについて調べ、調べたことをもとに生物の多様性や自然環境の保護について考えていった。そして、「うみまつり」を開催して、これまで学んだことや自分たちの考えなどを下級生に発信した。また、そこに至るまで、オンライン会議を開催し、市内3校の海洋教育推進校と3回の意見交流を行った。



## 「4年 海の時間『つながろう！つなげよう！私たちと諏訪川と有明海』」

諏訪川中流域で行ったカヌー体験教室で考えたことをもとに学習課題を設定し、校区にある諏訪川下流域の生き物や、生き物を取り巻く環境などについての学習を展開した。下流域では生活排水の影響を強く受けることや、生き物が生きる環境を生活ごみが汚染していることなどを学び、環境保護のために自分たちができることを考え、自分たちの考えをポスターに表し、地域のスーパーや公共施設、下級生などに発信した。また、3年生と同じようにオンラインによる3回の会議を行い、意見交流を行った。



## 「5年 海の時間『有明海と人の生活とのつながり』」

地域にある三池港と人の生活とのつながりについて、主として運輸に目を向けて学習を展開した。110年以上前に團琢磨の手によって築港された三池港が、海外との貿易や国内の運輸に関して、今も現役で稼働していることなどを学び、その素晴らしさを地域や保護者、下級生に伝えるために壁新聞やリーフレットにまとめ発信した。また、3年生と同じようにオンラインによる3回の会議を行い、意見交流を行った。



## 「6年 海の時間『海と人の共生』」

これまでの3年間の学びをふり返ったり、三池港についての出前授業を受けたりする中で、三池港周辺の沿岸部開発と人の生活の関係について学習を展開した。その中で沿岸部開発を進めると人の暮らしは豊かになるが、自然環境を守ることが難しくなるので、双方のバランスを取ることが最も重要であることに気づき、自分たちの考えを4校交流オンライン会議の中で意見交流したり、「海洋教育子どもサミット in おおむた」において九州地区の海洋教育推進校と意見交流をしたり、「全国海洋教育サミット」で発信したりした。また、ポスターやリーフレットなどを作成して校内の下級生に向けて自分たちの考えを発信した。

